



第2回移動等円滑化評価会議の様相

第2回会議では、地域分科会(全国10か所)に加え、特性に応じたテーマ別意見交換会(※)の実施状況が報告されました。報告では、会議のあり方や基本構想・マスタープラン、計画段階における当事者関与、心のバリアフリー等について交わされた主な意見について、さらに協議が行われました。阿部会長からは、障害者団体が関与したバリアフリー化の成功例として仙台市営地下鉄をあげ、さらに建築物等の老朽に伴う改修工事の際には障害者団体との連携による取組の重要性について言及しました。また、2021年以降の整備目標等に関する質問に対し、国交省からは、「別途、検討委員会を設けて検討を進めたいと考えているところだ。」と発言がありました。そのほか

9月30日、第2回移動等円滑化評価会議が、国交省内会議室にて開催されました。障害者団体、有識者、行政、鉄道、バス、タクシー、船舶等交通事業者等が委員として参加、日身連は阿部一彦会長が参加しています。

第2回移動等円滑化評価会議が開催

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
ディアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

日身連では、区民会館で開催されたワークショップに協力しました。ワークショップの前には東京おてだまのみなさんによるお手玉演奏があり、参加者の緊張感を和らげてくれました。開会あいさつは、インクルージョン教育向上委員会実行委員長の南北ちとせさんが行い、続いて、参加者の特別支援学校の生徒さんによる開会宣言でワー

9月1日、「インクルージョンフェスティバル2019 in セタがや」が三軒茶屋駅前のキャロットタワー、ふれあい広場、区民会館を会場に開催されました。このイベントは、世田谷在住の生徒学生を中心としたジュニア実行委員会が企画や運営等を手がけ、大人がサポート役として全員参加で作りを上げる子どもたち主役のイベントとして開催されています。会場ごとに音楽祭、ダンス、国内外の絵画作品展示、フリーマーケット等が行われ、暑いなかにも関わらず、たくさんの人で大盛況でした。



インクルージョンフェスティバルワークショップの様相

トされ、そして、健康フラ介護フラ協会の方達と一緒にフラダンスを踊りました。最後に、参加者の生徒さんから閉会のあいさつがあり、笑顔あふれるワークショップを閉じました。ワークショップでは、日身連のほか、日本視覚障害者団体連合(日盲)、全日本ろうあ連盟日本障害者リハビリテーション協会が参加協力しました。

ワークショップがスタートしました。進行は、栗原志功さん(慶応義塾大学大学院講師)。「これからの共生社会をつくらう!」をテーマに、テーブルごとに楽しく楽しいディスカッションが交わされました。グループ発表のあとには、『心のバリアフリーについて学ぼう』(内閣官房制作)を視聴し、自閉症のピアニスト小柳拓人さんからは演奏がプレゼント

三軒茶屋駅周辺でインクルージョンフェスティバルが開催 日身連がワークショップに協力

好事例や先進事例の報告や国交省が行った実証実験ホームと車両段差隙間やUDタクシー試乗会、ホテル・旅館の

建築設計標準追補講習会の開催等が報告されました。
(※)日身連は肢体不自由等の会に参加